

芦田恵之助の読み方指導にある今日的意義

－「七変化の教式」における学びの支援効果に着目して－

文学研究科

人間行動学専攻 教育学専修

2025年度

学籍番号 BBB23036

す 須 さ 佐 ひろし 宏

目次

序 章 研究の動機	1
第1節 研究の目的・背景	2
第2節 本研究の構成	4
第3節 先行研究	6
1. 芦田恵之助に係る先行研究	6
2. 芦田恵之助の読み方指導に係る先行研究	7
(1) 第一の系譜	8
(2) 第二の系譜	10
(3) 第三の系譜	12
(4) 第四の系譜	15
3. 芦田恵之助に係る簡易年表	19
第1章 近代の国語教育と芦田恵之助の読み方指導	21
第1節 近代国語教育の起点と芦田恵之助が学童期に受けた教育	22
1. 近代国語教育の起点	22
2. 芦田恵之助が学童期に受けた教育	22
第2節 読み書き関連指導の重視と随意選題による綴り方が国語読本に与えた影響	23
1. 読み書き関連指導重視による国語読本の扱い	23
2. 随意選題による綴り方教育が国語読本に与えた影響	24
第3節 芦田恵之助による読み方指導以前の読み方教授	25
第4節 芦田恵之助の教育理念と読み方指導の確立	27
1. 読み方指導における芦田の教育理念の形成	27
2. 芦田実践における綴り方指導と読み方指導の連動	31
(1) 静坐の師匠・岡田虎二郎との出会いが与えた影響	31
(2) 綴り方指導から読み方指導へ	31
3. 垣内松三による芦田実践の価値づけ	32
第2章 芦田恵之助の読み方指導にみえる特徴	36
第1節 芦田による読み方指導の主要著書	37
第2節 芦田教式七変化の成立過程	39

1. 『読み方教授法』(1914)に見られる読み方教式	39
2. 『読み方教授』(1916)に見られる読み方教式	41
3. 『第二 読み方教授』(1925)に見られる読み方教式	43
4. 『国語教育易行道』(1935)に見られる読み方教式	44
5. 『恵雨読方教壇』(1937)に見られる読み方教式	48
6. 『教式と教壇』(1938)に見られる読み方教式	52
第3節 芦田恵之助の読み方指導にみえる特徴	57
1. 発動性の重視	58
2. 教材研究と児童の実態把握	60
3. 摘書と視写による言葉への着目	62
4. 音読の重視	66
5. 師弟共流	68
6. 自己を読む	70
第3章 現代の「読むこと」の学習場面における課題	72
第1節 教師主導になりがちな単元学習	73
第2節 多忙化による教材研究の質の低下	74
第3節 「対話」を重視した学習への移行による弊害 ～置き去りになる 下位層の児童～	75
第4節 一斉学習における主体的参加	77
第5節 「音読」と「手で読むこと」の欠如	77
第6節 令和の日本型学校教育の柱と「読むこと」の学習	80
第7節 「深い学び」の捉えにくさ	81
第4章 芦田恵之助の読み方指導にある今日的意義	83
第1節 受容と賞賛による発動性の喚起	84
1. 「皆読」と発動性の重視	84
2. 現代の児童を学びへといざなう受容と賞賛	86
第2節 指導の基盤となる教材研究	86
1. 視写による教材文の精読	86
2. 学ぶ意味のある教材との出会い	87
3. 勝負単元での「手で読む」素材研究	88

第3節 「四 かく」にある今日的意義	89
1. 視覚と身体活動を通して自分のペースで対象と対話する言語活動	89
2. 静寂による集中効果	91
3. 言葉の精選による言葉への着目効果	91
4. 視写を位置づけることの今日的意義	92
第4節 「五 よむ」にある今日的意義	93
1. 音声言語化を通じた文章理解	93
2. 音読をすることによる活性効果	94
3. 「四 かく」から「五 よむ」への連動効果	95
4. 音読を適切に位置づけた意見交流	96
第5節 「師弟共流」の視点による個別最適な学び	97
1. 「師弟共流」の視点に立つことで再認識される教師の出と教材研究	97
2. 現代の「読むこと」の指導における師弟共流	98
第6節 「自己を読む」ことによる深い学びの実現	99
1. 「深い学び」と「自己を読む」の同義性	99
2. C「読むこと」のオを念頭に置いた単元による段階的な考えの形成	100
終章 本稿の総括と指導改善の方策	102
第1節 本稿の総括	103
第2節 今日の「読むこと」の指導改善に活かす上での工夫点	103
1. 単元学習における2段階の興味付け	104
2. 児童による重要語句の選定	104
3. 視写の位置づけと板書や掲示による視覚的な支援	105
4. 「書こうとすればすぐに筆が動いてくれる力」の育成	105
5. 文字入力による視写	106
6. 児童同士による音読確認	106